

# DAIKUJUI

Vol.86



〔目 次〕

巻頭言 新年のご挨拶 古新 亮英会長…… 1	官公庁との懇談会
新年のご挨拶	◇国土交通省近畿地方整備局営繕部……17
大阪府知事 吉村 洋文……… 2	◇大阪府住宅まちづくり部設備課………17
国土交通省近畿地方整備局	新技術・新商品説明会を開催………18
営繕部長 村上 幸司…… 3	設備ニュースを発行………20
新年交礼会を開催……… 4	4 団体協議会を開催………26
日空衛第26回全国会議開催……… 6	管工機材・設備総合展開催………27
第11回配管技能コンテストを開催……… 7	第46回野球大会を開催………28
配管技能コンテスト審査講評……… 8	大空会ゴルフ大会を開催………32
配管技能コンテストに参加して	ボウリング大会を開催………33
(学生の部上位) …… 9	告知板(賛助会員募集・行事予定ほか) ……34
第57回技能五輪全国大会報告………12	青年部会 活動だより(実務研修会ほか) ……35
令和元年度安全衛生大会を開催………13	年賀ご挨拶(会員・賛助会員一同) ……38
令和元年度安全パトロールを実施………15	編集後記………40

(表紙写真)

大阪を代表するランドマークタワー

梅田スカイビルは、1993年に完成した地上40階・地下2階、高さ約173メートルの超高層ビルである。タワーイースト(東棟)、タワーウエスト(西棟)の2棟で構成され、その頂部を連結するように円形の空中庭園展望台を設置した構造が特徴であり、またこれにより地震・風・振動への耐性が強化されている。さらに、イースト・ウエスト両棟を行き来する22階に連絡通路が設けられているのが特徴的である。ビル最上部の空中庭園展望台からは梅田を中心とした大阪の都心と遠景を一望でき、360度の視界と全天を風を感じながら眺められる展望台は観光スポットとして人気がある。ちなみに、英の出版社が選ぶ「世界のトップ建築物20」に選出され、今や世界的にも有名な建築物として名実ともに大阪を代表するランドマークタワーとなっている。



新 年 の ご 挨拶

会 長 古 新 亮 英

明けましておめでとうございます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本を中心として、台風19号による記録的な水害等、例年以上に全国各地で自然が猛威を振るい、災害が頻発した1年でした。

被災された皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

昨年12月には、政府において、台風19号等相次ぐ自然災害への復旧・復興と景気の下振れリスクに対応するため、財政支出13兆2千億円、事業規模で26兆円に上る経済対策「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」が閣議決定され、将来を見据えた経済活力の維持・向上が期待される所です。

我々、空調衛生工事業界としましては、長年培ってきた省エネルギー、省CO<sub>2</sub>技術の知見とノウハウにより、最先端技術を創造・発信する等、社会の低炭素化に貢献するとともに、温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「脱炭素社会」の実現に向けて先導的役割を担う業界としてのプレゼンスを更に高めていく必要があります。

また、建設業界における担い手確保と人材育成が引き続き重要な課題となる中、昨年6月には、新担い手3法（品確法・建設業法・入契法）の一体的改正が行われ、長時間労働の是正や週休2日の確保といった「働き方改革」、「生産性向上への取組み」等の一層の推進が期待される所です。

このためには、建設工事における適正工期の遵守やそれに見合う請負代金の確保といった取り組みが必要不可欠であるとともに、女性の視点も踏まえた様々な世代が働きやすい労働環境を整備し、建設業界への入職を強力に促進していく必要があります。

さらに、建設業界において一定の専門性・技能を有する外国人材の受入れが急務の課題となる中、今般、改正入管法で、外国人材受入れのための新たな在留資格である「特定技能」が創設されました。

空調衛生工事業界におきましても、外国人材の円滑かつ適正な受入れに向けて、専門工事業団体等と連携を図りながら、着実に進めていく必要があります。

そのためにも、当協会は、空調衛生工事業が魅力ある産業であることをこれからも発信してまいります。

最後になりましたが、協会活動の活性化と業界の更なる発展のために、会員・賛助会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますと共に、各社の繁栄と皆様にとってすばらしい一年になることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

大阪府知事

吉村 洋文

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、日頃から建設業の振興を通じ、住みよき大阪のまちづくりにご貢献をいただきますとともに、大阪府政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年4月の知事就任以降、大阪市長としての経験も活かし、成長をさらに加速させるとともに、大阪の成長が府民の皆さまの豊かさにつながるよう、府政を前に進めてきました。昨年は、G20大阪サミットの成功や、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録を通じ、世界の中で大阪の存在感を示す基盤が整いました。東京オリンピック・パラリンピックが開催される今年は、大阪にとっても未来を決めるターニングポイントです。日本の将来に大きなインパクトを与える2025年大阪・関西万博や統合型リゾート（IR）の準備に万全を期さなければなりません。

2025年万博を、世界中の人が驚く、未来社会を先取りしワクワクする万博にするために、地元パビリオンの出展などの準備を本格化させます。万博のテーマである「いのち輝く未来社会」は、「誰ひとり取り残さない持続可能な世界の実現」をめざす、まさにSDGsが達成された社会です。世界の先頭に立って、SDGsに貢献する先進都市をめざします。

「持続可能な世界の実現」のためには、その基盤となる安全・安心の確保が不可欠です。

近年、地球温暖化といった気候変動の影響により、災害が激甚化しており、昨年も度重なる台風などにより、全国で大きな被害が発生しました。いつ起こるか分からない災害に備え、着実にハード対策を進めるなど、災害対応力を高めていきます。

こうした施策を推進していくためには、建設業に従事する人材の確保と皆様が安心して働くことができる環境づくりが重要です。貴協会におかれましては、配管技能コンテストの実施による、熟練技能工の育成など、優れた技能労働者の確保と社会的地位の向上のためにご努力を重ねておられます。また、大阪府におきましても、昨年度、貴協会にもご意見を賜り、「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する大阪府計画」を策定いたしました。今後とも、本計画の推進にあたり、ご支援、ご協力をいただきますとともに、大阪の建設業、大阪・関西経済のけん引役としてご活躍いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会の今後ますますのご発展と、本年が皆様にとって実りあるすばらしい年となりますよう心からお祈りします。



## 新年のご挨拶

国土交通省 近畿地方整備局

営繕部長 村上 幸司

新年、明けましておめでとうございます。

一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会並びに会員の皆様には、清々しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より官庁営繕事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

建築物は災害に対する安心・安全を与えると同時に、日常の快適性の確保等が重要となります。皆様が営まれる暖冷房衛生設備工事は、建築物の快適性の確保等に重要な役割を担っています。

貴協会は長年にわたり建築物の省エネルギー化を推進され、業界の中でも重要な立場を担っておられます。国土交通省では、老朽化対策や長寿命化対策に取り組んでおり、併せて建築物の省エネルギー化を進めて行く必要があると考えておりますので、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

昨年は台風19号に伴う大雨等により各地に甚大な被害がもたらされました。被災された皆様によりお見舞いを申し上げますと共に、災害対策活動に従事された皆様に改めて御礼申し上げます。

近年の自然災害は激甚化の一途を辿っております。これらの脅威にスピード感をもって備えるとともに、二次的・副次的な災害事象にも耐えうる強靱なインフラが求められています。このため国土交通省では、重要インフラの緊急点検結果を踏まえた防災・減災、国土強靱化のための緊急対策を推進しています。官庁営繕部においても、防災拠点となる施設の整備、建築物の耐震化、津波対策など重点的に取り組みを進めています。

被災した建築物の早期復旧には、暖冷房衛生設備工事に携わる貴協会に対する国民の期待が大きいものと考えています。建設業全体が防災・減災、また被災地の早期復旧に取り組む姿勢は、国民の建設業に対する理解を得るものと確信しておりますので、引き続き皆様のご理解とご協力の程、よろしく願いいたします。

また、我が国は極めて速いスピードで少子高齢化が進行し、将来的な担い手不足が懸念されています。このため官庁営繕部では、「適正な工期設定」「週休2日の推進」「予定価格の適正な設定」「ICTの積極的な活用」等、関連する取組みをパッケージ化して導入することで、未来ある建築分野の発展に努めていきたいと考えております。

さて、2025年の大阪・関西万博の開催は、関西の経済、ひいては日本経済における明るい話題となっています。1970年の大阪万博が日本の高度経済成長を象徴する一大イベントとして成功したように、今回の万博も関西圏がますます元気になる契機となることを期待しております。その際、微力ではありますが、我々のできることを全力で取り組む所存でございますので、ご指導の程、よろしく願いいたします。

最後に、暖冷房衛生設備工事の重要な担い手である皆様のこれまでのご尽力・ご活躍に敬意を表しますとともに、今後とも業界がより一層発展されることを期待し、また、貴協会並びに会員の皆様にとって本年が更なる飛躍の年となることを祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

## 令和2年新年交礼会

## 賑やかに「子年」スタート



年頭の挨拶を述べる古新会長



来賓挨拶を述べる村上様（左）と岸本様（右）

令和2年新年交礼会は、1月9日午後6時から大阪・難波のスイスホテル南海大阪で関係官庁・団体、近畿各府県空衛協会からの多くのご来賓をお迎えし、総勢約350名が参集して開催しました。

古新亮英会長は年頭挨拶で、引き続き重要な課

題として担い手確保と人材育成をあげ、「昨年6月には、新担い手3法（品確法・建設業法・入契法）の一体的改正が行われ、長時間労働の是正や週休2日の確保といった「働き方改革」、「生産性向上への取組み」等の一層の推進が期待されてい



「子年」の門出を祝って乾杯



年賀の挨拶を交わしながら和やかに交歓

る。このためには、建設工事における適正工期の遵守やそれに見合う請負代金の確保といった取り組みが必要不可欠であるとともに、女性の視点も踏まえた様々な世代が働きやすい労働環境を整備し、建設業界への入職を強力に促進していく必要がある。」と述べました。

さらに、古新会長は、「建設業界において一定の専門性・技能を有する外国人材の受入れが急務の課題となる中、今般、改正入管法で、外国人材受入れのための新たな在留資格である「特定技能」が創設された。空調衛生工事業界においても、外国人材の円滑かつ適正な受入れに向けて、専門工事業団体等と連携を図りながら、着実に進めていく必要がある。」と述べました。

ご来賓の国土交通省近畿地方整備局営繕部長・村上幸司様は、祝辞の中で「防災拠点となる施設の整備、建築物の耐震化、津波対策など重点的に進めているとともに、被災した建築物の早期復旧には、設備工事に携わる貴協会の役割は重要であるので、引き続き理解と協力をお願いします。」と期待を寄せました。また、「適正な工期設定」「週休2日の推進」「予定価格の適正な設定」「ICTの積極的な活用」等、関連する取組みをパッケージ

ジ化して導入することで、未来ある建築分野の発展に努めていきたい。」と述べました。

さらに、「2025年の大阪・関西万博も関西圏がますます元気になる契機となることを期待しており、我々のできることを全力で取り組む。」との抱負を示されました。

また、ご来賓の大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課長・岸本博之様は、「SDGsに貢献する取組みとして、建築物の省エネルギー化、二酸化炭素排出削減、光熱費削減を効果的に進めることができるESCO事業を積極的に導入しており、すでに同事業は累計で105施設に達し、今後も引き続き推進していく。」と述べました。

また、「こうした建築物の省エネ化、地球温暖化対策には皆様方の技術とノウハウが欠かせないので、引き続きの支援と協力をお願いします。」と期待を示されました。

城口俊雄副会長の「カンカン乾杯」の発声で杯を上げたあと、祝電が披露され、賑やかに交歓しながら新年の挨拶を交わしました。最後に近藤徹副会長の音頭で一本締めを行い、交礼会を終えました。



挨拶する長谷川会長

日本空調衛生工業協会（日空衛 会長 長谷川勉氏）の第26回全国会議が令和元年10月23日に沖縄県宜野湾市のラグナガーデンホテルにて約370名で開催された。基本課題のテーマを「空調衛生工事業の独自性の確立」とし「地方の特色を生かし魅力ある業界を目指して」をサブテーマとして長谷川会長は「空調衛生工事業は、今後とも最適な設備を責任を持って提供する企業使命の達成を通じて社会的責任を果たすとともに積極的な情報発信やPR活動によって業界のプレゼンス（存在感）を向上させる事が非常に重要である」と述べた。

特に「省エネ、省CO<sub>2</sub>などによる低炭素社会づくりへの取り組みに向け長年培ってきた設備技術の経験とノウハウを活用し、今後も先導的役割を果たす」と述べた。

建設キャリアアップシステムは「モデル現場の開設・運用を通じて課題の把握やノウハウの蓄積に努め一層の周知・普及に取り組む」とした。

続いて来賓からは内閣府沖縄総合事務局の小口浩次長が挨拶をされた。

## 沖縄県宜野湾市に全国から約370名参集 ～業界のプレゼンス向上を図る～



基調講演では、琉球大学 工学部環境建設工学科の堤純一郎教授が「気候変動に対して空調衛生設備がなすべき緩和策と適応策」と題して、地球温暖化がもたらす様々な例を話された。

この後、事例発表が行われ最初に双峰設備の代表取締役社長・曾和英徳氏が「魅力的な建設産業に向けて～担い手確保と新たな人材育成～」と題して講演。継続性の重要性を強調された。次いで沖縄科学技術大学院大学 博士（工学）の岩澤鏡児氏が「沖縄のOIST～これまでとこれから～」と題して特徴・今後の展望を話された。

さらに日空衛の三石栄司経営活性化委員会主査は、会員企業を対象に実施した働き方改革の推進に関するフォローアップアンケートの結果を報告した。

会議のあと小憩し、全国大会では初となるプールサイドにて盛大に懇親会が開かれ情報交換・意見交換が繰り広げられた。





## 第11回配管技能コンテスト開催

# 技能者、学生・生徒計44名が腕を競う

学生の部 高校生・岡君優勝

一般の部 神戸氏が接戦を制し栄冠



学生の部上位入賞者（前列）



一般の部上位入賞者（前列）

大阪空気調和衛生工業協会（会長古新亮英氏）主催の第11回配管技能コンテストが8月24日、大阪府東大阪市の府立東大阪高等職業技術専門校で開催され、一般技能者、専門学校生・高校生合わせて44名が腕を競った。

このコンテストは、次代の優秀な技能者の育成をめざし、全国の空調衛生設備団体の中で唯一、同協会が実施しているもの。協会のコンテスト実行委員会が運営に当たったほか、布施工科高校など多くの教諭が審査委員・審査補佐委員としてバックアップした。



学生の部優勝・岡さん（右）



一般の部優勝・神戸氏（右）



水圧テストの様子



サイズ審査の様子



競技の様子（学生）



競技の様子（一般）

開会式で挨拶に立った古新会長は、学校や関連団体など運営関係者の協力にお礼を述べ「建設業界は、若年労働者の減少、技能者の高齢化が顕著となり人材育成が喫緊の課題となっている。今年11月に愛知県常滑市で開催される第57回技能五輪全国大会に出場する布施工科高校の学生2名も参加されているが、コンテストを通じて現役の配管工と建築設備を学ぶ若者が一堂に会して配管技能を競う意義は大きい。互いの技術力が磨かれ、技能向上に役立つことを願っている」と激励した。

コンテストには現場の第一線で活躍する技能者26名（一般の部）、建築設備関連の学科を履修中の北大阪高等職業技術専門校、大阪工業技術専門学校の学生・生徒18名（学生の部）が参加。一般の部では1級配管技能士検定レベル、学生の部では同3級レベルの課題作品制作に挑戦した。

作品はサイズ誤差、出来栄、水圧試験による漏れ検査などで審査され、学生の部では彦根工業高校の岡駿也太君が見事優勝に輝き、大阪府知事賞を受賞、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課産業人材育成グループ課長補佐・兼田雅弘氏からご挨拶のあと、同賞が手渡された。

準優勝と3位は技能五輪に出場予定の布施工科高校の福西健太君と久保直耶君がそれぞれ獲得し、以下、4位・西尾貞輝君（彦根工業高校）、5位・稲葉匠海君（布施工科高校）が受賞した。

一般の部ではカンベ設備工業の神戸良彰氏が優勝し、大阪府職業能力開発協会会長賞が授与された。準優勝は三和工業の藤井一樹氏、3位・服部大輔氏（中道設備工業）、4位・定行良太氏（藤井設備）、5位・藤田大輔氏（カンベ設備工業）がそれぞれ受賞した。

競技終了後に行われた表彰式で小池清隆審査委員長（布施工科高校教諭）は学生の部について「上位3人は総合点が同点。寸法精度で1位は減点なし、2・3位も出来栄でも同点で、ミリ単位で順位を決定した」と講評し、一般の部についても「上位は激戦であった。漏水による失格者が11名も出た。銅管と銅管のつなぎ目からの漏水が目立ち、これがなければ多数が上位に入賞していた」と講評した。

また、挨拶に立った同協会の福原保豊副会長は「学生さんも一般の配管技能士の資格を持つ現役の配管工の姿を見て技能を身につけることの大切さとモノづくりの素晴らしさを体感する一日になったと思う。現場を支えているのは熟練技能者であり、これからもさらに技術を磨いてほしい」と総括し、参加者にエールを送った。

## コンテスト審査講評

### 審査委員長

### 小池 清 隆

(布施工科高校 建築設備系)



#### — 一般の部 —

第11回配管技能コンテストが開催され、今回より、審査委員長を仰せつかりました小池です。無事終了できましたことを、ご関係の皆様にお礼申し上げます。

今回も上位入賞の方々は、優れた一級技能士であることを、明らかにする方々でした。冬の一般技能検定実技試験では見ることのできない、綺麗な作品が多く、減点数が少なく順位付けが大変難しいものでした。

特に作品が完成した方24名の中で水圧試験をする前には、10名の方の基準点が10点以下でした。優勝者の減点数は4点でしたが、優勝した方よりも寸法、できばえの減点が少ない方も2名おられました。

言い換えれば、今回は12位までの順位が決定したこと、水漏れ有の方が11名もあったことは、非常に残念でした。今回も今までと同様に、学生たちが同時進行で行うコンテストの場で、作業を実施いただき、学生たちに大変貴重な経験となりました。先に発表させていただいたように、それぞれの順位は、ごくわずかな差で順位を付けました。

今回も検定試験以上の厳しい採点基準にもかかわらず「できばえ」の減点が少なく、銅管の接続も綺麗な方々が多く、ほとんどの方が制限時間一杯までねじ部分などの残留テープ除去など、仕上がりに「よいこだわり」を見せていただいた。一般の部に参加していただいた方々に改めて、お礼

申し上げます。学生たちと同じ場所で競技し、学生たちに良い刺激を与えてくださりありがとうございました。

#### — 学生の部（5つの教育機関から参加） —

今回も上位入賞学生は、優れた作品ができることを、明らかにすることができた。3級技能検定より4割ほど大きい作品は、誤差が出やすく寸法基準で規格外となるものが4人もいました。そのうち3名は水漏れもあり、水圧試験では先の3人を含み、6人の学生が水漏れでした。多くが銅管の不具合で「ろう付け」の技能向上が課題となりました。銅管ろう付けは各校で消耗品が高価なこともあり、十分な練習をすることへの課題でもあると感じました。大阪、滋賀の団体より練習材料の提供を頂いていますが、「銅管・ろう付け」対策が今後の課題であることが示されたように感じました。

寸法の減点は規格外の他は、全員減点が一桁で、9名の学生は3点以下でした。中でも、減点0（ゼロ）の学生が4名、できばえの減点もない学生が水漏れするなど、例年になく第11回大会は、波乱の多い大会であったと感じました。

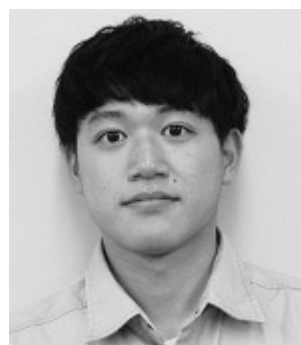
昨年第10回記念大会に続く、新たに11回目を迎えた今回の優勝者は、基礎点が2で3人並び、精度1の差で優勝しました。以下も僅差で、精度2までが同点で、精度3を適用することになり最終順位が付きました。配管技能コンテストが定着し、練習量、大会挑む気持ちの差が如実に出る大会となったと感じます。今回も学生たちが同時進行で行うコンテストで、自分の作業の終了した学生たちが一般の部で腕を振るう皆様方の息吹を感じたことは、学生たちに大変貴重な経験となりました。第11回を無事終了し今年も多くの学生に参加頂き、充実した大会となり、皆様に改めてお礼申し上げます。

## 配管技能コンテストに参加して

### ☆☆優勝（大阪府知事賞）☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校  
建設科 岡 駿也太

私が今回の配管コンテストに参加したのは先生に勧められ友達からも誘われたからです。参加したからには優勝することを目標にして日々の練習に参加しました。夏休みの練習は蒸し暑い中細かい作業をしていくのでとても大変でした。力作業もあるので練習の休みがあると次回練習の終わりには腕が悲鳴を上げていました。夏休みの練習には講師の先生に教えてもらいました。講師の先生は、分かりやすく丁寧に教えていただきました。



私はコンテストに参加して、日々の努力を惜しまず最後までやり遂げる大切さを学びました。練習も休まず一つ一つの作品を集中して作りました。大会の作品も最後まで寸法を確認し汚れている部分を綺麗にしました。この事を社会に出てもしっかり行きたいです。先生や協会の方々には指導や応援していただきありがとうございました。

### ☆☆準優勝☆☆

大阪府立布施工科高等学校  
設備システム専科 福西 健太

私は1年生の時に配管実習を行い、興味を持ちました。それで配管技能検定3級を受検し、合格しました。2年生で設備システム専科に進級することを決めました。「全国技能五輪大会」に大阪府代表として出場することが決まり、『人前で競技し成果を上げる』ことを念頭に参加しました。

秋には大阪府代表の一人なので、負けられない、『上位を狙って!』という思いで日々の練習に励みました。当日は少し不安がありましたが、開会式で技能五輪に向かうことも紹介いただき、緊張



感が良い方向に高まりました。いつも以上に“丁寧に”、“慎重に”作業に取り組みました。表彰式になりました。

知事賞は逃しましたが、準優勝できてうれしいです。応援・協力してくださった先生方、技術指導に来てくださった玉川様、池成様のご指導があったからだと思います。

### ☆☆3位☆☆

大阪府立布施工科高等学校  
設備システム専科 久保 直耶

私が今回の配管コンテストに参加したのは先生に勧められ友達からも誘われたからです。参加し



たからには優勝することを目標にして日々の練習に参加しました。夏休みの練習は蒸し暑い中細かい作業をしていくのでとても大変でした。力作業もあるので練習の休みがあると次回練習の終わりには腕が悲鳴を上げていました。夏休みの練習には講師の先生に教えてもらいました。講師の先生は、分かりやすく丁寧に教えていただきました。

私はコンテストに参加して、日々の努力を惜しまず最後までやり遂げる大切さを学びました。練習も休まず一つ一つの作品を集中して作りました。大会の作品も最後まで寸法を確認し汚れている部分を綺麗にしました。この事を社会に出てもしっかり行いたいです。先生や協会の方々に指導や応援していただきありがとうございました。

## ☆☆ 4 位 ☆☆

滋賀県立彦根工業高等学校

建設科 西尾 貞輝

元々モノづくりが好きで、よくプラモデルや木で模型を製作していました。そんな中、配管コンテストが行われていることを知り少し違う分野のモノづくりも挑戦してみようと思い参加することを決めました。夏休みになると本格的に練習を始めました。暑い中での細かい所まで気を使う作業は非常に大変で上手いかないときもありました。しかし、先生や講師の方の協力を得て乗り越えることが出来ました。結果は優勝することが出来ませんが、当日には自分の納得のいく作業が



できたので、努力して良かったなと思いました。普段は注目しないような分野に挑戦して新たな発見や新たな興味が湧いて、様々なことにチャレンジすることは大切だと思いました。沢山の人の協力と応援があった為、技術上達はもちろんの事他に多くの事を学ぶことが出来ました。本当にありがとうございました。

## ☆☆ 5 位 ☆☆

大阪府立布施工科高等学校

設備システム専科 稲葉 匠海

2年生になり、建築設備系設備システム専科に進むことにしました。2年生のときも配管技能コンテストに出場できたのですが、入賞できず、昨年は第10回記念大会であったので、特別に新設された「努力賞」を頂きました。今年は、実力で何とか入賞でき安堵感があります。

コンテストの当日を迎え、不安や緊張感もあり



ましたが、こんな大きな大会に連続出場でき、結果も得られたのでこれからの自信になります。

多くの方々が応援してくださり、本当にありがとうございました。来年は参加できないので、布施工の後輩に是非優勝してもらいたいと思いました。

令和元年度 第57回技能五輪全国大会 (愛知県常滑市 愛知県国際展示場)

## 7年連続 大阪府選手団に配管職種で出場!

大阪府立布施工科高等学校 建築設備系 小倉 一浩

### 1. はじめに

日頃よりお世話になっています、今回も報告させていただく機会を頂き、改めてお礼申し上げますと思います。

大阪府五輪予選を通過した本校生が、第57回技能五輪全国大会に大阪府の代表として競技してまいりました。



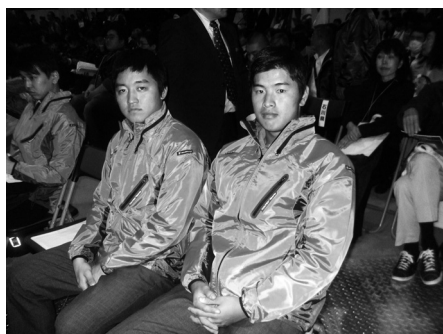
愛知で配管作業中の福西君

### 2. 全国大会に参加して

11月14日(木)に愛知県に入り、15日(金)は午前中、常滑市(セントレアの愛知県国際展示場「F」)に向かいました。

午後から、同展示場「A」で全体の開会式がありました。16日(土)の競技当日は早朝より会場に入り、開始の合図を迎えました。

準備の日に確認したので、ほぼ考えていた課題通りで、給水20Aの90°エルボが、45°エルボに変更されている内容でした。



開会式に臨む福西君(左)と久保君(右)

給水銅管と給湯銅管を順調に進め、昼前に銅管曲げ作業など終えるなど、予定時間通りのできました。昼食後余裕をもって後半を迎えました。器具まわりの配管で思いの外時間がかかってしまい、排水・通気系統を満足に仕上げることが出来ませんでした。

毎年生徒が実感することですが、本大会を体験できたことで、練習で発揮できていた自分の力を出すことが、如何に大変かを知ることができたようでした。4月から仕事場で力が発揮できるよう

に、社会人になってからこそ、努力を続けてほしいと思いました。

7年連続出場は高校では、今大会では最多となり、歴代の高校でも連続出場最多新記録となりました。貴協会には、生徒が練習する材料費の支援を賜り誠に感謝しております。

### 3. 二人の感想

今年も、野球部の大会が終了して、技能五輪の配管練習を本格的に始めました。課題変更で銅管の曲げ作業が減りました。

かなり自信を持っていましたが、終盤の作業で意外と焦ってしまい、大会で持てる力を全て発揮することの難しさを改めて感じました。『練習の大切さと本番で力を発揮する度胸』を、後輩に伝えていきたいと思います。

貴重な経験が出来、後輩に伝えていきたいです。貴会のご支援や技術指導して頂いた多くの方のお陰です。ありがとうございました。



愛知で配管作業中の久保君

令和元年度

## 安全衛生大会を開催



令和元年度安全衛生大会を昨年10月3日に大阪市西区の建設交流館8階グリーンホールで開催し、優良工事現場を表彰するとともに、安全衛生・労働衛生を誓い合いました。

大会は、関係官庁や友好団体から多数のご来賓をお招きし、合わせて約200名が出席。最初に、業界でこの1年間で不幸にも事故などで亡くなられた方々に対して黙祷をささげご冥福を祈りました。

大会で冒頭挨拶に立った古新亮英会長は「昨年の建設業における死亡災害の墜落・転落は、ほぼ横這いであるものの、平成30年も微増し、3年連続の増加となっている。

このため、墜落・転落災害に対して、本年2月に労働安全衛生法施行令等改正により、「安全帯」の名称が「墜落制止用器具」に変更され、原則「フルハーネス型」使用へと義務化された。また、特に墜落の危険性の高い業務を行う労働者について



挨拶する古新会長

は、「安全衛生特別教育」が必修となっている」と述べました。

さらに、「働き方改革」を推進し、労働災害を防止するためには「一過性の指導に終わらず、安全管理や労働衛生教育を粘り強く繰り返し、推進す

ることにより、労働者の安全確保や、職場環境の改善を図り、労働災害ゼロを目指していく必要がある」と呼びかけました。

続いて、大阪中央労働基準監督署の安全衛生課長・小野祥二様から来賓挨拶をいただきました。小野様は、「本日表示を受けられる皆さんは、小さなことから一つひとつ積み重ねてこられた。安全管理に偶然はない。確実な対策を確立し、仕事に臨んでほしい。われわれは、灯台のごとく大阪の中心から安全の光を放っていく」と祝辞を述べられました。



来賓挨拶をされる小野祥二様

このあと、安全衛生優良工事現場の表彰式に移り、辻高司・労務専門委員が、表彰条件、選考過程と結果を発表し、優良事業所22社を表彰しました。受賞者代表が、古新会長から表彰状を受け取り、同代表が『安全の誓い』を力強く読み上げました。



会長より工事表彰



受賞者代表による「安全の誓い」

引き続き、参加者全員で労働安全スローガン『新たな時代にP D C A みんなで築こうゼロ災職場』と労働衛生スローガン『健康づくりは人づくり みんなでつくる健康職場』を斉唱して作業の安全を誓い、大会第1部を終了しました。



全員でスローガンを斉唱し安全衛生を誓う

小憩のあと、第2部として、医療小説分野で活躍中の作家・医師・大学特任教授の久坂部羊様を招き、特別講演会を開きました。

久坂部様は「医療小説の現在～人生の最終章を幸せに生きる」をテーマに講演し、豊富な臨床経験に基づき、幸せな最終章のあり方を説得力ある口調で語る等、出席者は熱心に耳を傾けました。

最後に、福地文雄労務副委員長が「労働災害の根絶はわれわれの最大の責務であるとともに、安全対策、労災防止のノウハウをしっかりと次世代に伝えていくことが重要である」と述べ、大会の幕を閉じました。



特別講演する久坂部 羊 様



閉会の辞を述べる福地労務副委員長

表彰会社名 (22社)

浦安工業株式会社大阪支店	クウケン株式会社	敷島煖房工業株式会社
新日本空調株式会社大阪支店	新菱冷熱工業株式会社大阪支店	株式会社精研
ダイクウ株式会社	大晃設備株式会社	大成温調株式会社大阪支店
ダイダン株式会社大阪本社	大熱工業株式会社	日建設備工業株式会社
株式会社日設関西支店	日本メックス株式会社関西支店	株式会社不二設備工業所
不二熱学工業株式会社	株式会社前田商会	株式会社マサキ設備
丸住株式会社	美和設備工業株式会社	柳生設備株式会社
若林設備工業株式会社		





# 令和元年度 安全パトロールを実施

須賀工業(株) 業務本部  
西日本安全・品質管理グループ  
堤 英治



## 高砂市新庁舎建設工事 空調・衛生設備工事作業所を巡回

令和元年8月28日(水)、一般社団法人大阪空気調和衛生工業協会は令和元年度安全パトロールを、下記のメンバーで実施しました。

安全パトロールは、当協会安全労務委員会行事の一環として工事現場の安全指導と、安全労務専門委員の総合安全研修を兼ねて行っています。

安全パトロールで巡回した現場は、高砂市新庁舎建設工事空調・衛生設備工事作業所であり、既存庁舎及びインフラを生かしながら建屋を解体し、新庁舎を建設する工事です。

### ○竣工イメージ図



### 巡回作業所

高砂市新庁舎建設工事空調・衛生設備工事作業所

### 巡回メンバー

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

#### ◇協会事務局

林 寿二 【専務理事】

#### ◇安全労務専門委員

稲岡 栄治 【三機工業(株)】

新原 辰美 【新日本空調(株)】

堤 英治 【須賀工業(株)】

辻 高司 【日比谷総合設備(株)】



朝礼広場で撮影 巡回メンバー

### 巡回した作業所の工事概要

- 工事名称 高砂市新庁舎建設工事
- 工 期 平成30年10月4日～令和4年12月22日
- 工事場所 兵庫県高砂市荒井町千鳥1番1号ほか
- 建物概要
  - 工 種 新 築
  - 建物用途 庁舎
  - 構造 鉄骨造

階数 新分庁舎 地上2階  
 新本庁舎 地上4階一部5階  
 立体駐車場棟 地上2階  
 駐輪場、バイク置き場、他

建築面積 4,884.70㎡

延床面積 13,641.48㎡

○発注者 高砂市

○設計監理 株式会社 東畑建築事務所

○請負者

建築工事 ソネック・貝塚特定建設共同企業体

○協力業者

機械設備工事 須賀工業 株式会社

電気設備工事 西部電機 株式会社

○請負形態 一括発注

○空調設備工事概要

1) 熱源設備 空冷ヒートポンプチラー

2) 空調設備

空気調和機

空冷ヒートポンプパッケージエアコン、  
 ガスヒートポンプパッケージエアコン

3) 換気設備

給排気ファン、全熱交換器、中性能フィルタ

○衛生設備工事概要

1) 給水設備

加圧給水ポンプ方式、水道直結方式（立  
 体駐車場棟のみ）

給水系統：飲用水、雑用水

2) 給湯設備

給湯器による個別給湯方式

3) 排水設備

汚水・雑排水の合流方式

4) 都市ガス設備

給湯器に供給

5) 消火設備

屋内消火栓設備

不活性ガス消火設備

巡回在先立ち現場事務所において、当社佐藤所長より工事の概要説明や現場工程、作業内容と巡回ルートなどの説明を受けた。

ステップ毎に解体・新築を繰り返す難易度の高い工事で、既設インフラの切り替え作業では特に神経を使って慎重に作業が進められているようです。

新分庁舎の2階廊下で高所作業車により、配管・ダクト工事並びに給排水配管の施工準備中で、高所作業車及び脚立による高所作業は、安全帯の完全使用と始業前点検により、墜落転落災害防止を確認した。



長丁場の現場ですが、令和4年12月の竣工まで、このまま無事故無災害を継続していただけるようお願いをしてパトロールを終えました。

今回の安全研修として、適切な模範となる作業所を巡回でき、メンバー全員が納得し知識向上に役立った安全パトロールでした。

## 官公庁との懇談会

### 国土交通省近畿地方整備局営繕部

(一社) 日本空調衛生工事業協会近畿支部は、昨年12月5日、シティプラザ大阪で国土交通省近畿地方整備局営繕部との懇談会を開催し、営繕工事における週休2日促進工事の状況、適正な工期確保への取組み、生産性向上技術の活用、不調・不落対策などについて質疑応答を行った。

今回の第16回懇談会には国交省から5人、近畿支部から14人が出席。日空衛近畿支部からの週休2日促進工事の状況についての質問に、国交省側から「原則全ての工事において、受注者希望方式で週休2日促進工事を導入しており、現場閉所の状況により経費の補正を実施。」との取組みが示された。また、適正工期については「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」に基づく各種取組を実施中。」との取組みが示された。生産性向上技術の活用については「施工BIMの試行については、全国で新営建築工事の3件に加え、空調衛生設備改修工事2件を対象に実施中。」との取組みが示された。さらに、不調・不落対策については、「営繕工事発注時に、実績要件の緩和、対象等級や地域要件の拡大、工事書類の簡素化等を適切に実施。」との取組みが示された。その他、近畿地方整備局から各種情報提供があり、意見交換した。



### 大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課

(一社) 大阪空気調和衛生工業協会は、昨年11月11日にシティプラザ大阪で大阪府住宅まちづくり部公共建築室設備課との懇談会を開催し、週休2日工事、適正な工期確保、生産性向上、不調・不落への取組み等について質疑応答を行った。

懇談会には大阪府から4人、大空衛から10人が出席。週休2日工事の取組みについて大阪府からは「今年度、府営住宅の衛生設備工事を含む新築工事において、週休2日促進工事を発注者指定型で試行実施中。その検証結果を踏まえ、本格実施に向けて検討。」との回答を得た。適正な工期確保については「公共建築室では独自の工期算出方法により適正な工期を算出。工期の遅れが生じている案件については、室内の各課の課長が出席するマネジメント会議において問題点などの把握や情報共有を図り対応方針を検討。」との回答があった。生産性向上への取組みについては「工事書類の簡素化については、工事中の施工検査に必要な書類を、一覧表にすることで枚数の削減を図っているところ。」との回答があった。さらに、不調・不落への取組みについては、「来年度からは、管工事において、新築及び改修工事を対象に、発注金額2億円以上のAランクにおける受注回数制限の撤廃を図ることを検討中。」との回答があった。このほか、府の入札制度の現状や設備業界における働き方改革の取組み状況等について、意見・情報交換した。



# 賛助会員「新技術・新商品説明会／懇親会」開催



新技術・新商品説明会のもよう（円内は挨拶する北村経営委員長）

令和元年11月26日に大阪市北区のハービスENT オフィスタワー9階会議室で賛助会員による新技術・新商品説明会を開催しました。説明会のあとには会員・賛助会員が交流する懇親会も開いて親睦を深めました。

説明会には賛助会員から新技術・新商品紹介として8社が参加、会員・賛助会員合わせて83名が出席。冒頭、当協会の北村広外志経営委員長から、

「今回の催しは、3回目で、去年は3社だったが今回は、8社と大幅な増加で、御礼申し上げる。今後は、新技術・新製品以外に各社の「働き方改革」への取組や生産性の向上の事例発表等、積極的に応募していただきたい」と要望しました。

説明会は、別表のプログラムにより、前半の部では、4社から説明の後、小憩。後半の部では、4社から説明がありました。

## 交流懇親会で和やかに交歓

説明会のあと、会員・賛助会員合わせて85名が参加の交流懇親会をハービス OSAKA 6階「ガーデンシテイクラブ大阪」で催しました。

席上、当協会の古新亮英会長は、新技術・新製品を説明した賛助会員と参集者へお礼を述べるとともに、「来年は、新技術・新製品だけではなく、各社の様々な取り組み等も紹介してほしい」と述べ、乾杯の音頭をとり、和やかに歓談しました。

各テーブルでは名刺交換しながら賑やかに交流し、最後に福原副会長の音頭で威勢よく一本締めを行い、散会しました。

懇親会で挨拶する古新会長



交流懇親会のもよう

## 【説明会プログラム】

No	会社名	新技術・新商品（概要）
1	(株)川本製作所	<p>● 『直列多段型直結増圧給水方式』</p> <p>「直列多段型直結増圧給水方式」は、増圧ポンプを複数設置する新たな給水方式です。これまで直接給水ができなかった建物でも直結給水方式を選択できるようになりました。</p>
2	新晃工業(株)	<p>● 『ヒートポンプ空調機Ⅱ』</p> <p>◇特徴・最大8万m<sup>3</sup>/hの大風量に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12,800m<sup>3</sup>/h以下では省スペース型をラインアップ</li> <li>・過酷な低外気温度に対応する室外機運転条件</li> <li>・高精度の温度制御と追従性</li> <li>・約50,000通りに及ぶ制御システム</li> <li>・新晃工業ならではの設計多様性</li> </ul>
3	シンワ工業(株)	<p>● 『空調用の新型ハウジングタイプの継手、SATジョイント』</p> <p>フレア加工後、フランジではなくハウジングと同じく被せて施工する新商品です。</p> <p>● 『衛生用の新型フランジ リーンズフランジ』</p> <p>JISIOKフランジではなく、ボルト穴を減らしたフランジとなります。</p>
4	菱電商事(株)	<p>● 『IoTを活用した健康管理・安全管理ソリューション』</p> <p>1) 健康管理ソリューション「My SOS for ME」</p> <p>健康診断結果や既往歴を管理するスマートフォンアプリ 救急時の対応方法や周辺のAED医療施設を検索可能 オプションでAI画像解析による食事カロリー判定や血圧計連携も可能。</p> <p>2) 安全管理ソリューション「富士通安全管理ソリューション」</p> <p>バイタルセンシングバンドを装着した作業者の熱ストレスレベルや転倒を検知し管理者にアラーム送信するスマートフォンアプリ。複数の作業者の状態を一元管理でき、現場リスクの低減可能。</p>
5	川重冷熱工業(株)	<p>● 『小型貫流ボイラ「WILLHEAT」シリーズ』</p>
6	オーケー器材(株)	<p>● 空調ドレン配管の省工事</p> <p>『結露防止層付ドレン配管「断熱ドレンシステム』』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・断熱ドレンパイプ</li> <li>・断熱ドレン継手</li> <li>・断熱ドレンフレキホース</li> </ul>
7	因幡電機産業(株)	<p>● 耐震振れ止め金具【クロスロックシリーズ ボルト固定式】</p> <p>3分ボルト用タイプに4分ボルト用ラインアップ追加。挟むだけで仮止め可能。施工時間約50%短縮（当社比）耐震性能確認済み。</p>
8	TOTO(株)	<p>● 『ベッドサイド水洗トイレ（業界初！移動可能な水洗トイレ）』</p> <p>TOTOでは足が不自由になっても自分自身で排泄が行えるよう、ベッド周辺に設置できる移動式のトイレをご用意しております。便器背面に粉碎圧送ユニットを搭載し、汚物を砕きポンプで圧送します。フレキ排水管をご用意し、部屋内は勾配がなくても汚物を搬送できる仕組みです。</p>

# 空調設備ニュース 9

air conditioning news

2019.Sep

No.029

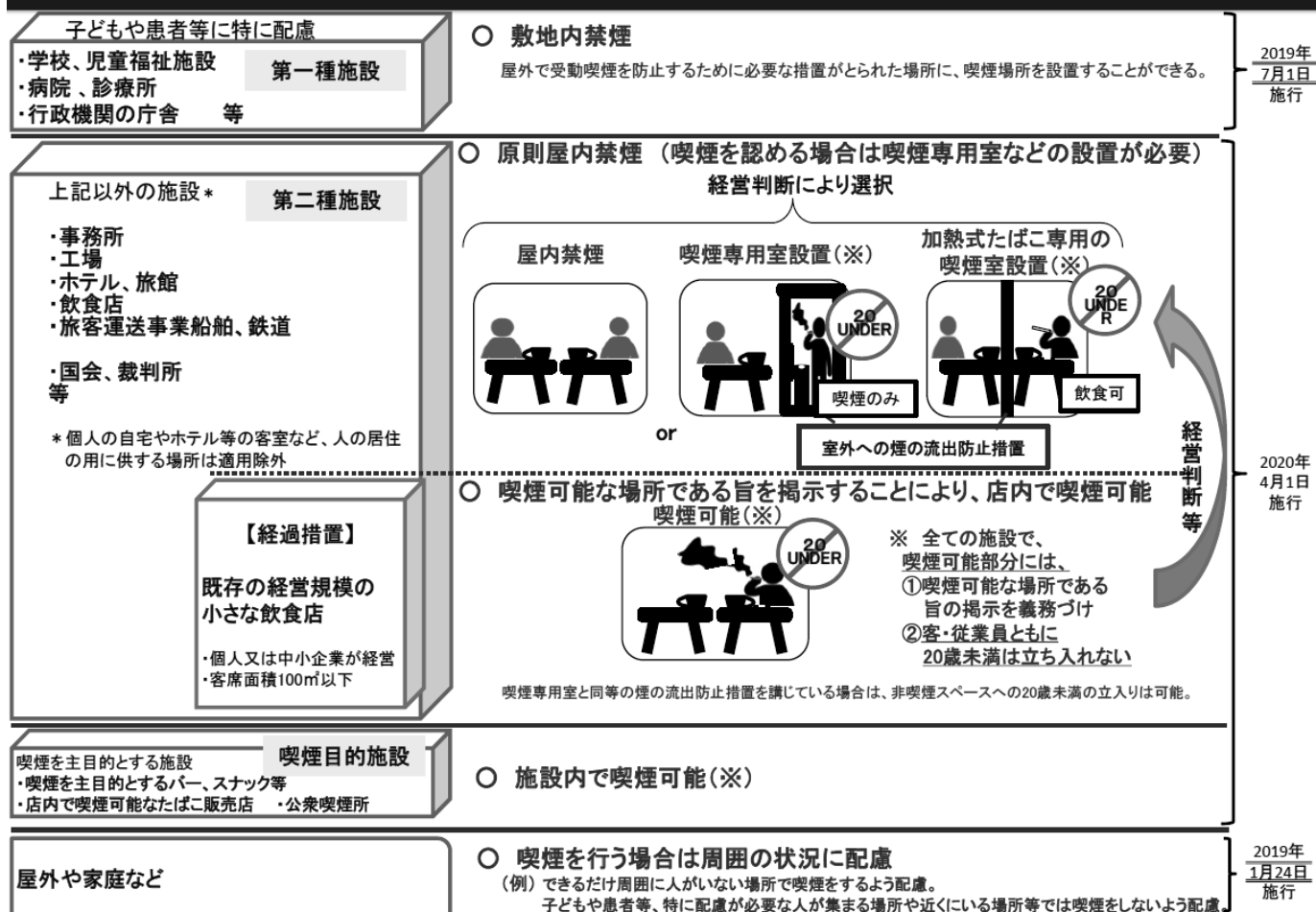
- 機器
- ダクト
- 配管
- 換気
- 排煙
- 自動制御
- 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

## 「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の策定について

健康増進法の一部を改正する法律が、2018年7月25日に公布され、2019年1月24日より順次施行されています。厚生労働省では、これらを踏まえて事業者における受動喫煙防止対策の一層の推進を図るために「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」を策定しています。

### 改正健康増進法の体系



### ピクトグラムを用いた標識例



多くの施設において  
屋内が原則禁煙に



20歳未満の方は  
喫煙エリアへ立入禁止に



喫煙専用室



加熱式たばこ専用喫煙室



喫煙可能室

施設内に設置することができる「喫煙専用室」等に関しては、室外場所へのたばこ煙流出を防止するための構造及び設備に関する技術的基準を満たすための効果的な手法例が示されています。

## (抜粋)

技術的基準を満たすための効果的な手法等の例

### 1 喫煙専用室

喫煙専用室については、喫煙専用室内のたばこの煙を効果的に屋外へ排出するため、また、出入口から非喫煙区域にたばこの煙が流出することを防ぐため、その設置場所及び施設構造を考慮する必要があること。

#### (1) 喫煙専用室の設置場所

就業する場所や人の往来が多い区域から適当な距離をとることが効果的であること。

また、中央管理方式の空気調和設備（エアコンディショナー）を採用している建物にあっては、当該設備の吸気口がある区域に喫煙専用室を設置すると、当該設備を通じて建物全体にたばこの煙が拡散する可能性が高いため、これを避けること。

#### (2) 喫煙専用室の施設構造

##### ア 壁の素材

喫煙によりタバコのヤニ等が壁に付着するため、清掃が容易な素材とすると喫煙専用室の維持管理がしやすいこと。

また、屋内側に面した壁に窓等を設置し、喫煙専用室内部の状況が見える構造にすると、火災予防対策や労務管理が容易となる効果があると考えられること。

##### イ 喫煙専用室内の備品類

備品を設置する場合は必要最低限とし、出入口から喫煙専用室内への気流を妨げないような構造や配置とすることが効果的であること。なお、専ら喫煙の用途で使用するものから、喫煙以外の用途で使用するものを設置することは認められないこと。

##### ウ 喫煙専用室の扉・給気口（ガラリ）

喫煙中の喫煙専用室の扉の状態として、扉を常時開放しておく方法と、扉を閉鎖して人が出入りする時のみ開放する方法があること。両手法についての留意すべき事項は以下のとおりであること。

なお、いずれの手法についても、喫煙専用室内の空気を屋外に排気する装置（以下「屋外排気装置」という。）等の機器を稼働させた状態において、扉を開放した際の開口面において喫煙専用室内に向かう気流 0.2メートル毎秒以上が確保されていることが必要であること。

#### (7) 喫煙中、常時扉を開放して使用する手法

出入口においてたばこの煙を防ぐ物理的な障壁がなく、気流でたばこの煙の漏れを防止しているため、空気調和設備の稼働時の空気の流れの変化に特に注意する必要があること。

#### (4) 喫煙中は扉を閉鎖して使用し、人が出入りする時のみ扉を開放する手法

喫煙専用室内への十分な給気を確保できるだけの給気口（ガラリ）を扉や扉の開放時に遮られる側壁等に設置すること。

開閉時に空気が乱れにくいように、スライド式の扉を設置するとより効果的であること。

#### エ 出入口におけるのれん等の設置

喫煙専用室の出入口にのれん等を設置し、開口面積を狭めると、より少ない換気量で一定以上の気流を確保することができること。

#### オ エアカーテンの活用

喫煙専用室の扉を開放して使用する場合は、出入口にエアカーテン（天井等に取り付けたユニットから床に向かって空気を吹き出し、冷暖房、煙、埃等の遮断を目的とした送風機器をいう。）を設置してたばこの煙の漏えいを防止する対策も考えられること。なお、たばこの煙が室外に流出しないよう、風向きや風量を適切に調節する必要があること。

#### カ 空気調和設備

空気調和設備を使用する場合は、吹き出し口の近傍に遮蔽板を設置するなど、空気調和設備から吹き出した空気が喫煙専用室の出入口における気流に影響を与えないよう十分配慮すること。

#### キ 屋外排気

##### (7) 屋外排気装置

屋外排気装置の例として、換気扇、天井扇、ラインファン、遠心ファン等があること。

#### (4) 喫煙専用室の形と屋外排気装置等の配置

同じ床面積であれば喫煙専用室の形は長方形とし、出入口と屋外排気装置は相対する短辺側に設けると、喫煙専用室内の効率的な換気が可能となること。

屋外排気装置で排気したたばこの煙が人の往来が多い区域や他の建物の開口部に流入しないよう、排気する場所も含めて喫煙専用室の設置場所は配慮することが望ましいこと。

#### (9) 技術的基準に関する経過措置

① 施行時点で既に存在している建築物等であって、管理権原者の責めに帰することができない事由によって、喫煙専用室の屋外排気が困難な場合にあっては、たばこの煙の流出を防止するための技術的基準（別紙1の2の(1)のア）に一定の経過措置が設けられていること。この場合、次に掲げる要件を満たす機能を有した脱煙機能付き喫煙ブースを設置すること。

- ・扉を開放した状態の開口面において喫煙専用室内に向かう気流 0.2メートル毎秒以上が確保されていること。
- ・総揮発性有機化合物の除去率が95%以上であること。
- ・当該装置により浄化され、室外に排気される空気における浮遊

出典：厚生労働省

職場における受動喫煙防止対策について

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/roudouki\\_jun/anken/kitsuen/index.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudouki_jun/anken/kitsuen/index.html)

「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000524718.pdf>

受動喫煙対策

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000189195.html>

「なくそう！望まない受動喫煙」

<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp/>

# 空調設備ニュース 12

air conditioning news 2019.Dec

No.030

- 機器
- ダクト
- 配管
- 換気
- 排煙
- 自動制御
- 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

## ZEB (net Zero Energy Building) について

### ZEBとは

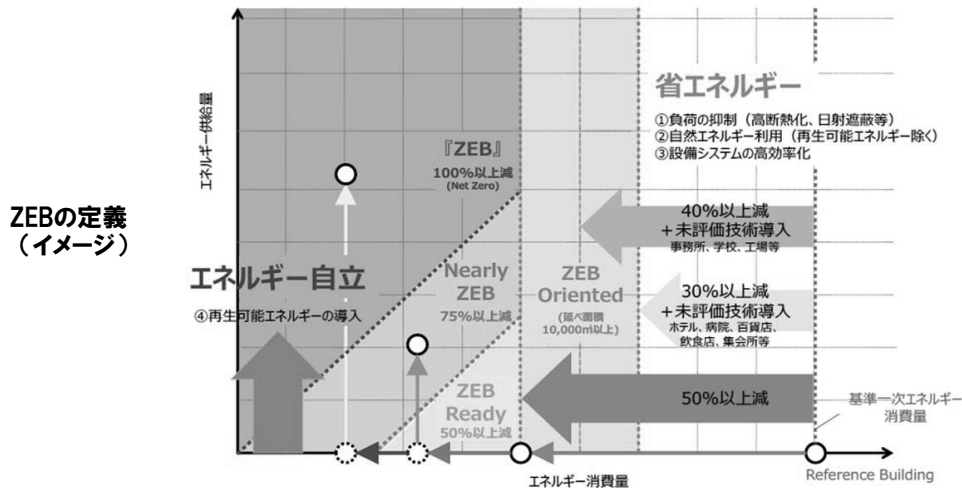
net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味（ネット）でゼロにすることができます。

### ZEBの定義と評価基準

建物のエネルギー消費量をゼロにするには、大幅な省エネルギーと、大量の創エネルギーが必要です。そこで、ゼロエネルギーの達成状況に応じて、ZEBシリーズが定義されています。

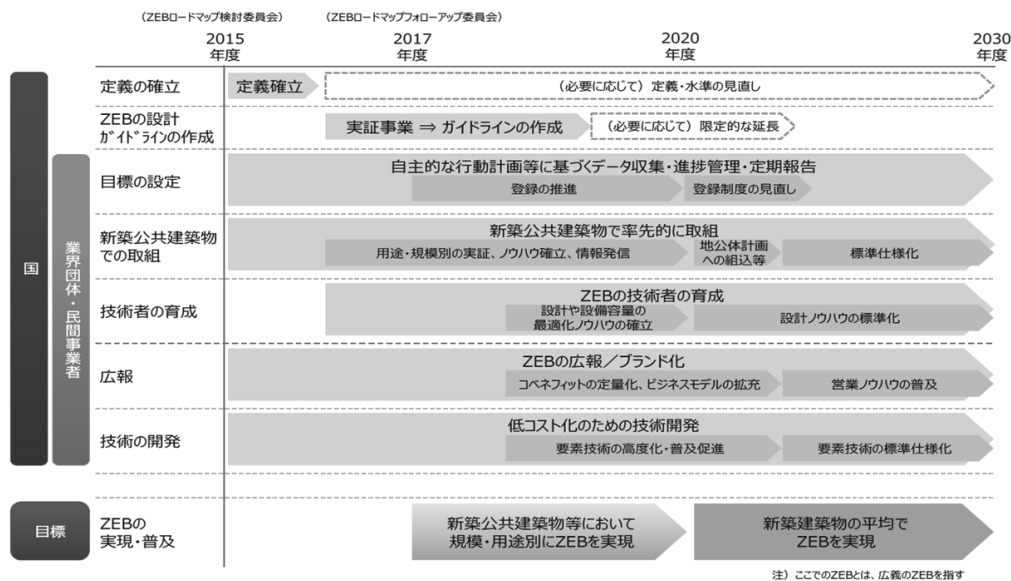
ZEBの定義		非住宅 <sup>※1</sup> 建築物					
		①建築物全体評価			②建築物の部分評価 (複数用途 <sup>※2</sup> 建築物の一部用途に対する評価) <sup>※3</sup>		
		評価対象における基準値からの一次エネルギー消費量 <sup>※4</sup> 削減率		その他の要件	評価対象における基準値からの一次エネルギー消費量 <sup>※4</sup> 削減率		その他の要件
		省エネのみ	創エネ <sup>※5</sup> 含む		省エネのみ	創エネ <sup>※5</sup> 含む	
『ZEB』(ゼブ)		50%以上	100%以上	-	50%以上	100%以上	・ 建築物全体で基準値から創エネを除き20%以上の一次エネルギー消費量削減を達成すること
『Nearly ZEB』(ニアリーゼブ)		50%以上	75%以上		50%以上	75%以上	
『ZEB Ready』(ゼブレディ)		50%以上	75%未満		50%以上	75%未満	
『ZEB Oriented』 (ゼブオリエンテッド)	建物用途 事務所等、学校等、工場等	40%以上	-	・ 建築物全体の延べ面積 <sup>※6</sup> が10,000㎡以上であること ・ 未評価技術 <sup>※6</sup> を導入すること ・ 複数用途建築物は、建物用途毎に左記の一次エネルギー消費量削減率を達成すること	40%以上	-	・ 評価対象用途の延べ面積 <sup>※6</sup> が10,000㎡以上であること ・ 評価対象用途に未評価技術 <sup>※6</sup> を導入すること ・ 建築物全体で基準値から創エネを除き20%以上の一次エネルギー消費量削減を達成すること
	ホテル等、病院等、百貨店等、飲食店等、集会所等	30%以上	-		30%以上	-	

- ※1 建築物省エネ法上の定義（非住宅部分：政令第3条に定める住宅部分以外の部分）に準拠する。
- ※2 建築物省エネ法上の用途分類（事務所等、ホテル等、病院等、百貨店等、学校等、飲食店等、集会所等、工場等）に準拠する。
- ※3 建築物全体の延べ面積が10,000㎡以上であることを要件とする。
- ※4 一次エネルギー消費量の対象は、平成28年省エネルギー基準で定められる空調調和設備、空調調和設備以外の機械換気設備、照明設備、給湯設備及び昇降機とする（「その他一次エネルギー消費量」は除く）。また、計算方法は最新の省エネルギー基準に準拠した計算方法又はこれと同等の方法に従うこととする。
- ※5 再生可能エネルギーの対象は敷地内（オンサイト）に限定し、自家消費分に加え、売電分も対象に含める。（但し、余剰売電分に限る。）
- ※6 未評価技術は公益社団法人空気調和・衛生工学会において省エネルギー効果が高いと見込まれ、公表されたものを対象とする。





# ZEBの実現・普及に向けたロードマップ(改訂版:2018年5月)

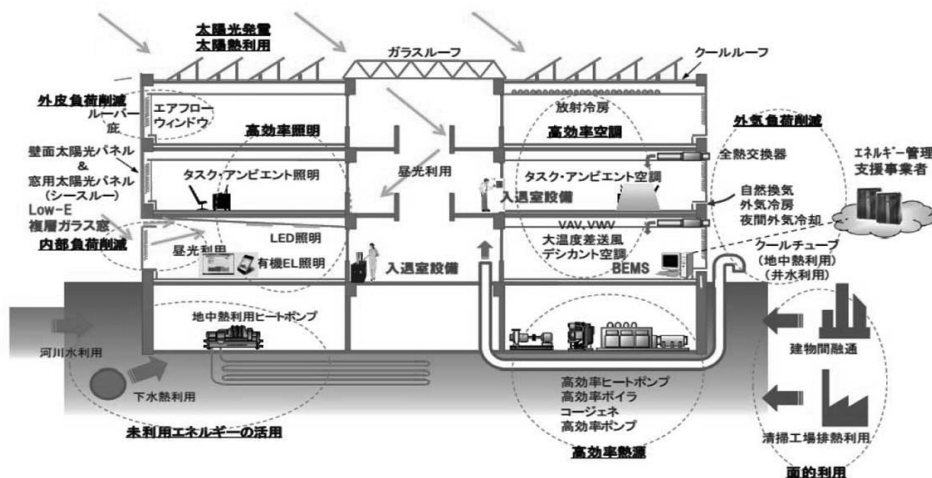


## ZEBの要素技術の技術開発動向

	2009年時点(※1)で設定した2030年頃までの技術革新	最新の技術開発計画(※2)における2030年頃までの技術革新
パッシブ建築	● 高断熱、日射遮蔽	● 左記に加えて、低真空断熱技術(熱損失係数1.6W/m <sup>2</sup> ・K程度)、外部可動日射制御システムの開発
自然エネルギー利用	● 外気冷房、ナイトバージ、室内CO2濃度による外気取入量制御	● 左記に加えて、次世代給湯用蓄熱
高効率熱源	● 現状より2割程度高効率な熱源の開発(現状のターボ冷凍機COP6.4を8.0程度に)	● 左記に加えて、超高性能ヒートポンプの開発(現状比で機器効率1.5倍、コスト3/4)
低消費搬送	● インバータの全面的活用、高効率モータ、高効率ポンプ、高効率ファン、低摩擦損失配管サイズ、ダクトサイズ	● 左記と同様
高効率照明	● 現状の消費電力量の1/3となる高効率照明器具(発光効率150lm/W)の開発と照度設定、調光や点滅制御の全面的採用	● 左記に加え、発光効率200lm/W・寿命6万時間のLED照明の導入、次世代照明(マイクロキャビティ、クラスター発光、蓄光技術、高伝送技術等)の導入
低消費OA機器	● 現状の消費電力量の1/2となるサーバー、1/12となるPC(6W)など	● 左記に加えて、年間消費電力1.6kWh/年・インチの高効率ディスプレイ(現状の消費電力量の1/3)の導入
その他の電力消費	● 現状の消費電力量の1/3となる防犯用・防災用機器、待機電力機器	● 待機時消費電力50mW以下(待機電力機器)
太陽光発電	● 屋上面積の2/3に、現状より2倍の変換効率のパネルを設置	● モジュール変換効率25%(2011年時は16%)、発電コスト7円/kWhの太陽光発電設備

※1: 経済産業省「ZEBの実現と展開に関する研究会」(2009年)  
 ※2: 内閣府「環境エネルギー技術革新計画(改訂版)」(2013年)、経済産業省「技術戦略マップ2010」(2010年)、  
 経済産業省「グリーンIT推進協議会 技術検討委員会 報告書」(2013年)に基づき作成

## ZEBの概念図(イメージ)



出典: 環境省 「ZEB PORTAL」

<http://www.env.go.jp/earth/zeb/detail/06.html#a01>

経済産業省資源エネルギー庁 「ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)に関する情報公開について」

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving\\_and\\_new/saving/enterprise/support/index02.html](https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/support/index02.html)

# 衛生設備ニュース 01

sanitary accommodations news 2020.jan

No.030

□ 機器 ■ 給水 □ 給湯 □ 排水  
□ 器具 □ 消火 □ ガス □ 環境 □ 他

一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会

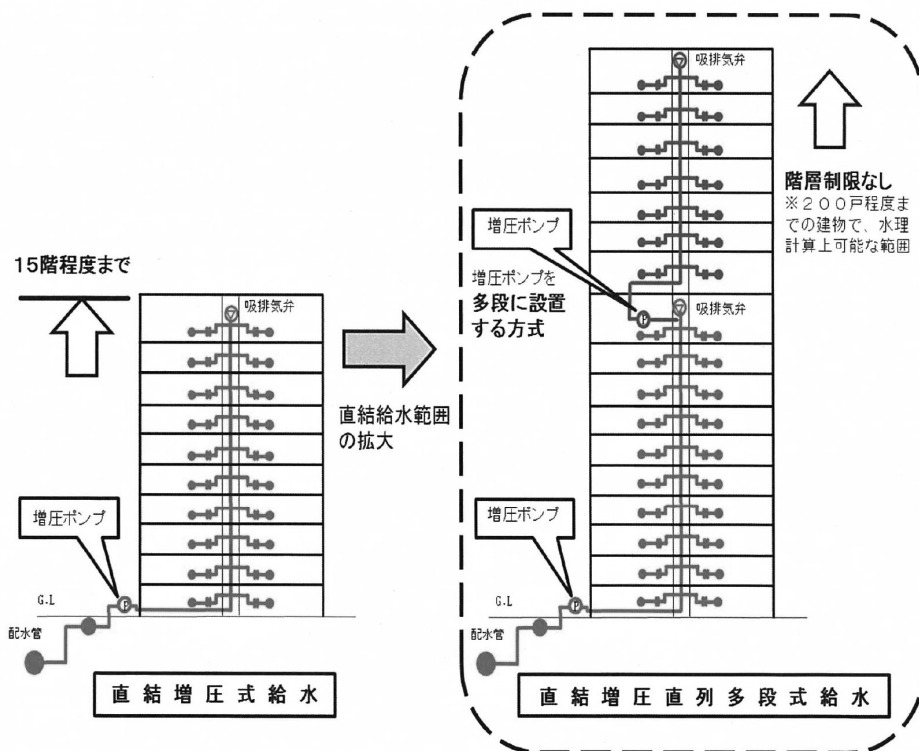
## 給水装置工事における直結増圧直列多段式給水の採用 受水槽の設置基準

大阪市水道局の給水装置工事設計施行基準（令和元年9月）から、以下の2点について紹介します。

### ① 給水装置工事における直結増圧直列多段式給水の採用について

水道水の安定供給を図りつつ直結給水の範囲を拡大することにより、貯水槽水道の不十分な管理に起因する衛生問題の解消、省エネルギー化の推進及び設置スペースの有効利用などを図り、需要者のサービス向上に寄与することを目的として、給水方式の選択肢を増やすことになりました。

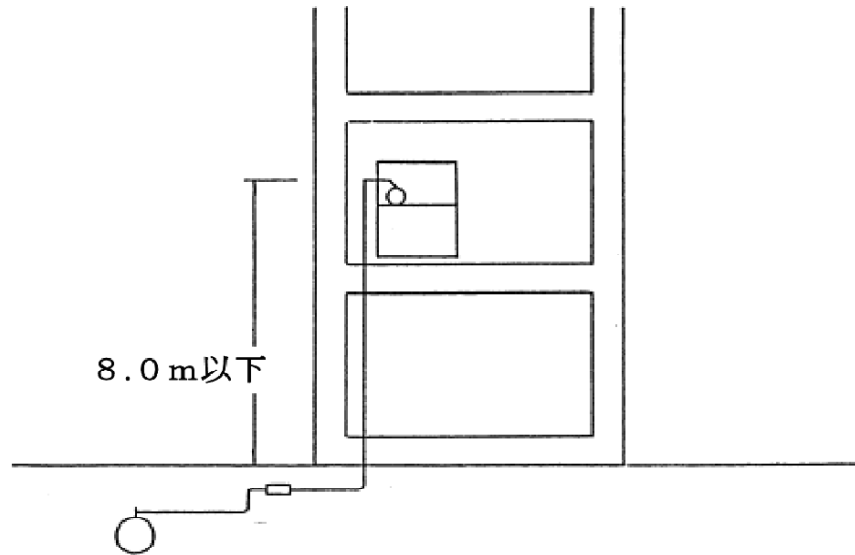
直結増圧直列多段式給水は、今まで15階程度の建物でしか使用できない直結増圧式給水の拡大を図るため、増圧装置を直列に設置することにより、水理計算上可能な高さまでの建物に対して、直結給水を可能にすることを目的とする。



適用条件や、増圧装置の選定条件・選定計算例などは、同基準を参照下さい。

② 受水槽の設置基準

受水槽は1階又は地階に設置することとし、これによりがたいときには、下図のとおり、その給水高さの範囲を地上8 m以下とする。



受水槽設置が可能な給水高さ

参考

大阪市水道局 給水装置工事設計施行基準（令和元年9月）  
<https://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000423986.html>

## 新・担い手三法、外国人材の受入れ等で 意見・情報交換

当協会と関西配管工事業協同組合、近畿ダクト工事業協同組合、近畿保温保冷工業協会にて構成する第31回4団体協議会が下記により開かれ、「新・担い手三法」「外国人材の受入れ基準の見直し」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日 時 令和元年7月29日
- ・会 場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 14名



初めに、事務局から、新・担い手三法について、説明の後、意見が交わされました。この中では、「現場では、作業員が不足する中、週休2日を義務化すると、その分、工期を長く確保して頂きたい。中央建設業審議会が工期に関する基準を作成するにあたっては、各専門工事業団体の様々な要望を反映してほしい。ゼネコンが人員確保できない中での受注が一番問題。発注者の都合による設計変更があるので、請負者側では、なかなか方針を決められない現状。工種ごとの工期を明確にできるかが重要」などの声が出されました。

次に、事務局から、外国人材の受入れ基準の見直しについて、説明の後、意見が交わされました。この中では、「全管連が外国人材の受入れ団体として表明。但し、そのためには、この4月に

設立された「一般社団法人建設技能人材機構」に入会が必要と言われている。3年前から外国人技能労働者を受け入れているが、その一方で、女性技能労働者を増やす取り組みも必要。施工管理を主にしているので、技能労働者としての外国人材は、受け入れていない」などの声が出されました。また、事務局から、建設キャリアアップシステムについて説明の後、意見が交わされました。この中で、「グリーンサイトで蓄積した就業履歴等を、連携ソフトを利用すれば建設キャリアアップシステムの就業履歴に移し替えることができると聞いている。東京の専門工事業組合の傘下企業は、4段階のカードの位置づけがはっきりしていないので、まだ登録していないとのこと。大半のサブコンは、事業者登録は済ませているのでは」といった声が出されました。

このほか、事務局から、令和元年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰受賞式典について、今年度は、近畿保温保冷工業協会へ受賞候補者（2名程度）の推薦を要請しました。

また、第32回4団体協議会が下記により開かれ、「建設工事の工期の適正化への取組」「外国人材の受入れ拡大の取組について」等について、意見・情報を交換しました。

- ・日 時 令和元年11月25日
- ・会 場 新トヤマビル3階貸会議室
- ・出席人数 14名

初めに、事務局から、建設工事の工期の適正化への取組について、説明の後、意見が交わされました。「設備工事にしわ寄せがきた場合、工期延期されるかが不透明。特に9割を占める民間工事が問題。国交省が各出先機関に設置した「駆け込

みホットライン]をもっと活用すればいいのでは。配管・ダクト・保温保冷工事は、プレハブ化（工場生産）や工場加工で対応している。サブコンも、ユニット化を推進している。」等の声が出されました。次に、事務局から、外国人材の受入れ拡大の取組について説明の後、意見が交わされました。「来年早々に、3団体（日空衛、日管連、全管連）で配管工のレベル1～4までの区分毎の基準を決定する予定。ダクト工のレベル1～4までの区分毎の基準については、これから本格的に検討。全ダ連としては、海外試験の導入については、工場を設置する必要があるので、困難と考えている。日保温保冷協では、外国人能力評価委員会を立ち上げたとのこと。既存の海外教育機関と連携することで、海外試験を低コストで実施することは可能ではないか。現場への技能実習生の受入れについては、申請して了解が取れるまで2週間程度か

かる。これでは、現場への迅速な対応ができない。」等の声が出されました。また、事務局から、建設キャリアアップシステムについて説明の後、意見が交わされました。「現場の技能者から、とりあえず登録してほしいとのことで、レベル1で登録したが、その後、経験や資格でレベルアップの変更登録する際に、アップ料千円と再登録料2千円の費用がかかったとのこと。再登録で費用をとるのは納得がいかない。カードリーダーを入退場のみに使っている現場もあると聞いている。グリーンサイトとの関係が進んでいない。」といった声が出されました。その他として、事務局から、令和元年度「優秀建設施工者」大阪府知事表彰受賞式典について、今年度は、当協会から、受賞候補者として、熱絶縁工の2名（熟練部門1名、青年部門1名）を推薦することとしました。

## 第19回管工機材・設備総合展に協賛

大阪管工機材商業協同組合（理事長久門龍明氏）主催の「第19回管工機材・設備総合展 OSAKA2019」が9月12～14日の3日間、大阪・南港のインテックス大阪で開催され、当協会も協賛団体として参画しました。

同展は、関西地区管材業界の一大イベントとして、隔年開催されているものです。

今回は、過去最多の195の企業・団体が、過去最大規模となる379小間に最新製品・技術を出展し、これまで以上の熱気に包まれた展示会となり、前回は上回る1万5292人の来場者で賑わいました。

今回は、メインテーマに「交感、共感、管動発信!」、サブテーマに「未来をひらく流体テクノロジー!」を掲げ、各ブースでは、生産現場での

省エネ、リサイクル、環境負荷軽減に貢献する環境関連機器をはじめ、昨今頻発するゲリラ豪雨や洪水などの土砂災害の復旧に貢献する設備機器が幅広く紹介され、社会インフラの構築と快適環境の実現に大きな役割を果たす管材・設備機器が来場者に広くアピールしました。



テープカット（右から5人目 城口副会長）

## 第46回野球大会



# (株)朝日工業社が昨年に続き連続優勝

優勝 (株)朝日工業社大阪支社	準優勝 若林設備工業(株)
第3位 高砂熱学工業(株)大阪支店	第4位 須賀工業(株)大阪支社

最優秀選手賞 (株)朝日工業社大阪支社 小松 太基選手  
敢闘賞 若林設備工業(株) 吉田 直樹選手

第46回野球大会は、令和元年10月15日～17日の3日間にわたり、舞洲運動広場で開催されました。16チームでの熱戦が繰り広げられた結果、(株)朝日工業社大阪支社が昨年に引き続き、連続優勝を成し遂げました。

開会式で協会の城口副会長は「会員相互の親睦とリフレッシュの場として、怪我のないように頑張ってもらいたい」と挨拶し、続いて城口副会長による始球式のあと、熱戦の火ぶたが切られました。

連日、白熱した試合が展開され、好プレーのたびに拍手と歓声が沸き起こりました。17日の閉会式では、協会の古新会長より優勝した(株)朝日工業社大阪支社チームへ優勝旗と表彰状等が授与され、続いて準優勝、第3位、第4位のチームへ表彰状・カップ等の授与が行われました。また、(株)日刊建設通信新聞社・西原関西支社長から優勝・準優勝チームへ盾が贈呈されました。

今大会も、審判及び青年部会の皆様による進行・運営により円滑に進み、無事終了することができました。関係各位に心から感謝申し上げます。



城口副会長挨拶



城口副会長による始球式



古新会長（左）からトロフィーを受ける最優秀選手賞  
(株)朝日工業社大阪支社 小松 太基 選手



古新会長（左）からトロフィーを受ける敢闘賞  
若林設備工業(株) 吉田 直樹 選手



優勝 ㈱朝日工業社大阪支社チーム



準優勝 若林設備工業㈱チーム



第3位 高砂熱学工業㈱大阪支店チーム



第4位 須賀工業㈱大阪支社チーム



優勝・㈱朝日工業社大阪支社チーム代表に  
古新会長から優勝旗の授与

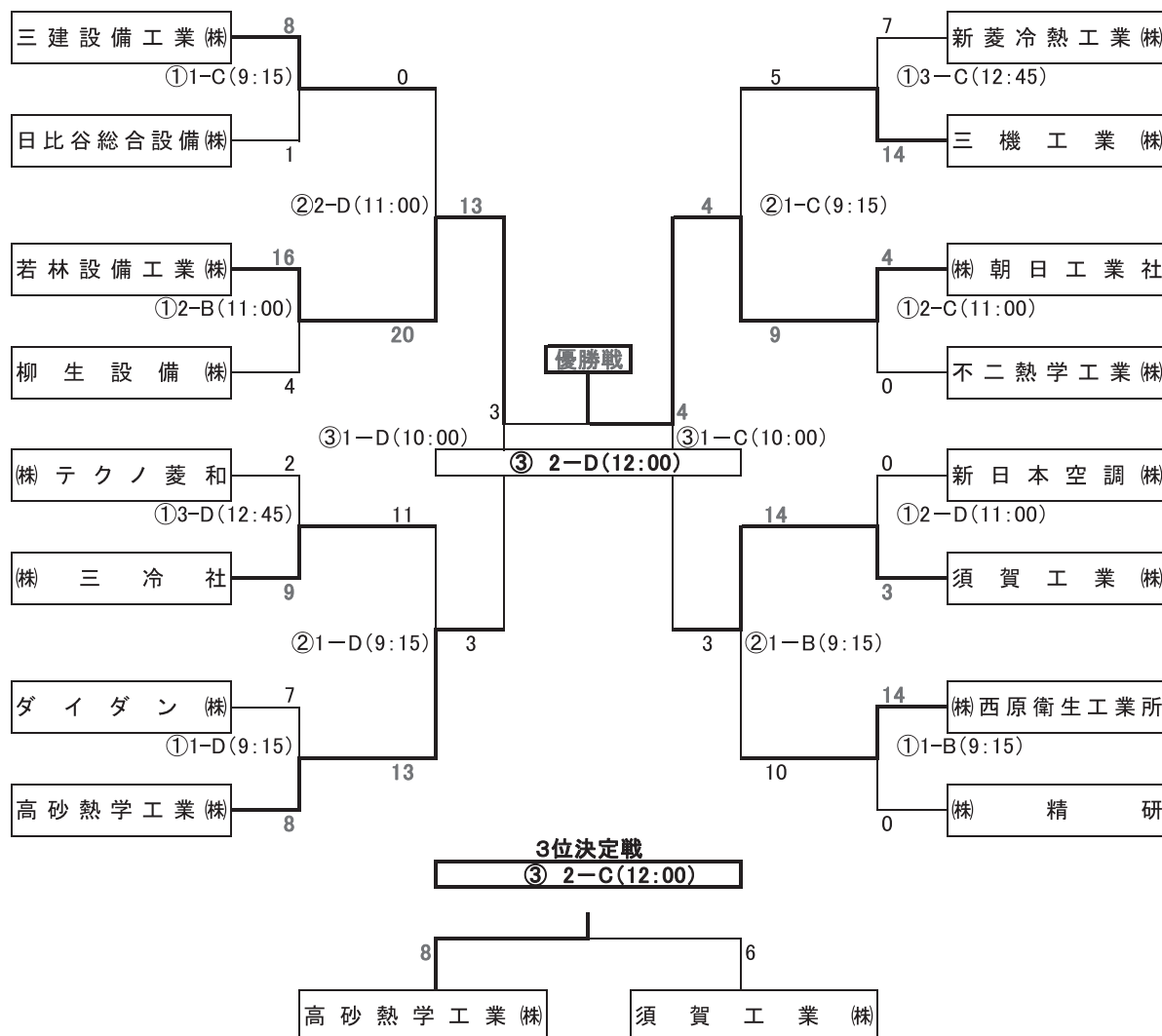


準優勝・若林設備工業㈱チーム代表に  
カップの授与



第3位・高砂熱学工業㈱大阪支店チーム代表に  
カップの授与

# 第46回野球大会組合せ表



## 観戦記 決勝戦

### 若林設備工業(株) VS (株)朝日工業社

鳳工業(株) 岸田 佑介

大会最終日、16チームの頂点をかけた戦いが幕を開けました。天候は晴。決勝カードは大会連覇を目指す朝日工業社と初めての決勝進出を果たした若林設備工業との対戦になりました。

朝日工業社は決勝までの道のりは非常に厳しいものでした。毎試合昨年優勝チームに対しチャレンジしてくる相手に対し苦戦をするもののチャンピオンの意地、強さを出し接戦でも勝ち切るといった戦いで駒を進めてきました。

対する若林設備工業は全試合で単打、長打を絡め2桁得点を挙げ勝ち進んで来た打撃に定評のある戦いぶりで決勝まで駒を進めたチームです。

さあプレーボール。先攻は若林設備、初回から2塁までランナーを進め先制点のチャンスを作るもこのチャンスを活かせず無得点。後攻の朝日工業社の攻撃はランナーを2、3塁に進め4番の木原選手が走者一掃のランニングHRで一挙3点を先制。2回は両投手のノビのあるストレートの前に「0」。3回表の若林設備の攻撃は1番からの好打順で3連打を浴びせ1点を返す。回は進み5回にも点数を挙げ得点を「2」点とする。後攻の朝日工業社は2、3、4、5、6回と吉田投手の



前にチャンスと作れずスコアボードに0を刻む。6回を終え3-2で朝日工業社リードの手に汗握る展開の中最終回へ進む。

最終回若林設備が執念の粘りを見せ1アウト2、3塁塁とチャンスを作りクリーンアップを迎えます。朝日工業社エース小松投手が3番を三振でねじ伏せ、4番佐野選手との対峙。打ち取ったあたりに見えましたが執念の内野安打で3-3の同点になり試合は振り出しに。続くチャンスでしたがエースの意地で続く打者への失点は許さず同点のまま裏の攻撃へ。朝日工業社は8番からの打順でしたがヒットと相手のミスも重なり2アウト3塁のサヨナラのチャンスを作る。ここで2番中丸選手でしたが好機を活かせず試合は何十年かぶりの延長戦へ突入。

7回の勢いそのままに若林設備が猛攻を仕掛けます。1アウト2、3塁と勝ち越しのチャンスを作ります。しかしまたもここで小松投手が立ち上がり本塁を踏ませないピッチングで流れを作り裏の攻撃に移ります。8回裏先頭バッターは打ち取られるも次の打者がエラーにて出塁1アウト2塁で再度サヨナラのチャンスを作ります。バッターは6番吉村選手、疲れが見えてきた吉田投手の速球を迷わず振り抜きライト前へ、2塁ランナーは迷わず本塁へ突入。見事なサヨナラ打で朝日工業社が大会連覇を果たし第46回野球大会の幕を閉じました。

両チームともに最後まで全力でプレーをしナイスゲームでした。



## 観戦記 3位決定戦

### 高砂熱学工業 VS 須賀工業

新日本空調(株)大阪支店 吉平 誠司

高砂熱学工業と須賀工業の3位決定戦です。先発投手は高砂熱学工業 宮脇投手、須賀工業 込山投手で試合開始です。

高砂熱学工業は試合開始早々1点先制。2アウトになるも1、2塁で追加点のチャンスを作ります。9番阿部選手のショート方向へのヒット性の打球を須賀工業川崎選手の好プレーに阻まれ追加点とはなりません。

須賀工業は先頭の千葉選手が2塁打、盗塁も成功しノーアウト3塁となり反撃開始です。続く山上選手もヒットを放ちノーアウト1、3塁。1アウトになるも藤村選手の2点タイムリーヒットで早々と逆転に成功しました。

3回、試合が大きく動きます。高砂熱学工業の先頭大溝選手のヒットを皮切りに1アウト満塁となります。その後は、デッドボールとフォアボールも重なり4点を取り、逆転に成功します。3回裏、須賀工業は2アウトながらも1、2塁のチャ

ンスを作りますが、得点には至りません。

3回から3番手としてマウンドに上がった須賀工業の川崎選手が4回を0点に抑え、味方の反撃を待ちます。須賀工業は4回裏、岩井選手のランニングホームランと相手のエラーもあり、2点を取り逆転に成功します。5回は互いに得点なし。5回終了時点で5-5と両者互いに譲らずの展開です。

6回表、2アウト1、2塁ながらも高砂熱学工業の栗田選手、村上選手、中野選手の連続ヒットで3点を追加し、終盤に須賀工業を引き離します。6回裏、須賀工業は岩井選手のヒットと盗塁でノーアウト2塁となります。次のバッターが倒れ1アウトになるも藤村選手のヒットで1点を返します。2アウトながらも小島選手のヒットで1、3塁となるも追加点とはならず、高砂熱学工業が8-6の2点リードで最終回を迎えます。

最終回は両チームとも最後の力を振り絞り、追加点のチャンスを作るも得点とはならず8-6で高砂熱学工業が勝利となりました。

両チームのみなさん、本当にお疲れ様でした。

# 令和元年度大空会ゴルフ大会開催

## 横田氏が見事優勝

令和元年11月13日（水）に奈良県の飛鳥カンツリー倶楽部で46名が参加して恒例の第15回大空会ゴルフ大会を開催しました。

競技結果は次のとおりです。

### 上位入賞者（敬称略）

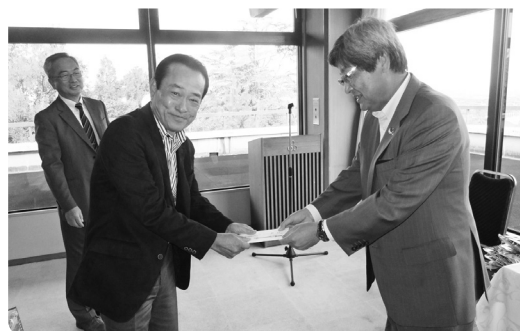
- ◇優勝 横田 健吾（株式会社ソエダ）
- ◇第2位 山本 一人（高砂熱学工業株式会社大阪支店）
- ◇第3位 藪本 繁明（大熱工業株式会社）



古新会長始球式



古新会長（左）から横田健吾様へ優勝カップ



準優勝の山本一人様（左）



第3位の藪本繁明様（右）



表彰式を兼ねた食事会

# 令和元年度ボウリング大会

## 団体戦 川崎設備工業(株)チーム優勝

当協会恒例のボウリング大会は令和元年11月19日（火）に桜橋ボウルで開催しました。

今回は18チームでの戦い（2ゲーム）となり、団体戦（チームは1社3名男女不問で結成、女子は1ゲームにつき30点加算）は川崎設備工業(株)西部支社が見事優勝しました。個人戦（女子ボーナス点加算）では、大東一弘様（不二熱学工業(株)）が優勝しました。



優勝・川崎設備工業(株)西部支社チーム



準優勝・ダイダン(株)大阪本社チーム

### 試合結果

#### ◇団体戦

- 優勝 川崎設備工業(株)西部支社
- 準優勝 ダイダン(株)大阪本社
- 第3位 (株)日設関西支店

#### ◇個人戦（敬称略）

- 優勝 大東一弘（不二熱学工業(株)）
- 準優勝 植田篤史（鳳工業(株)）
- 第3位 米本幸紘（(株)日設関西支店）

#### ◇ハイゲーム賞（敬称略）

- 男性 大東一弘（不二熱学工業(株)）
- 女性 高橋 恵（三建設備工業(株)大阪支店）



第3位・(株)日設関西支店チーム

### 個人戦



優勝  
大東一弘氏  
(不二熱学工業(株))



準優勝  
植田篤史氏  
(鳳工業(株))



第3位  
米本幸紘氏  
(株)日設関西支店



挨拶する林専務理事

# 告知板

## ○賛助会員募集のご案内

地球温暖化対策が求められる中、空調衛生設備へのニーズは、変化・拡大しております。

特に、「低炭素社会」という新たな分野への取り組みは、当協会と各メーカー、代理店の皆様と連携した研究開発が重要となってまいります。このような状況を踏まえ、当協会では賛助会員の募集を行っております。

賛助会員として入会されますと、当協会において新技術、新商品の発表の場が持てるとともに、新年交礼会や総会後の懇親会などの交流の場にご参加いただけます。

多くのメーカー、代理店各位のご入会をお待ちしております。

賛助会費 1社月額4,000円

会費納入 入会年度の会費は入会月から翌年3月末までの期間分を入会時に納入  
(4,000円×3月までの月数)。

以後は年額(48,000円)を下記半期と下半期に分け、上半期は6月末下半期は12  
月末に納入

入会手続 協会事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付します。

## ○今後の行事予定

開催日	行 事	場 所
2月20日(木)	(一社)日本空調衛生工事業協会近畿支部会	シテイプラザ大阪
4月7日(火) 8日(水)	新入社員研修	電設健保センター
5月14日(木)	当協会第47回定時総会	リーガロイヤルホテル
8月22日(土)	第12回配管技能コンテスト	大阪府立東大阪高等職業技術専門校

## 機関誌「大空衛」の表紙写真の募集

広報委員会では、年2回発行の機関誌「大空衛」の表紙写真につきましては、建築物を中心としたまちなみをモチーフとした写真を、会員及び賛助会員の皆様から募集したいと存じます。

つきましては、応募をお考えの方は、事務局(06-6271-0175)までご連絡して下さい。

なお、採用された方には、僅かですが、掲載料をお渡しします。

広報委員会

# 青年部会 活動だより

## 青年部会が研修会を開催



研修会のもよう



長元会長挨拶

協会青年部会（長元伸吾会長）は、令和元年9月11日午後2時から4時30分まで大阪市西区の建設交流館で研修会を開催しました。

今回の研修は、国土交通省近畿地方整備局企画部建設専門官の武本昌仁様と、野球解説者の佐々木修様を講師に招いての講演会となりました。

武本様は「i-Construction（ICT建設機械による情報化施工）の推進について」をテーマに講

演し、建設現場の生産性向上、ICT建設機械を駆使した施工、ドローンを活用した3次元測量などについて解説しました。

佐々木様は、「心身ともに健康に〜プロ野球から学んだ事」と題して講演し、幼少期からの豊富な体験から学んだ人生訓、考え方などを披露しました。



講演する武本昌仁様



講演する佐々木修様

# 大阪マラソン「クリーンUP作戦」実施



大阪マラソンクリーンアップ作戦

青年部会は、令和元年12月1日に3万人以上が参加して開催された「第9回大阪マラソン2019」に先立ち、令和元年11月27日に協会事務所のある新トヤマビル(大阪市中央区)周辺の路上の清掃

奉仕(クリーンUP作戦)を実施しました。参加者14名は、路上のゴミ等を収集してきれいにしマラソンに備えました。



路上をくまなく清掃



## 設備女子研修会を開催



研修風景

当協会青年部会（長元伸吾会長）は、令和元年12月5日午後3時30分から午後7時にかけて2部制で大阪市中央区の日本生命御堂筋ビル12階のハートンホールで設備女子研修会を開催しました。

第1部は22社50名、第2部は15社35名の方に参加いただきました。

設備女子研修会は今年度からの新たな試みとして、「近年、建設業界での女性への期待が高まり、活躍の場が広がっている状況をふまえ、当協会の会員を対象とし、グループディスカッション・懇親会を通じて、建築設備業界で働く女性同士の交流を深める。」という趣旨で開催することとなりました。

今回の研修は、人材育成プロデューサーとしてご活躍中の吉竹優子様を講師

に招いての研修会となりました。

第1部では、吉竹様による「周りと連携しながら仕事を進めるためのコミュニケーション力」をテーマに、グループディスカッションを交えながら研修が行われました。

第2部では、吉竹様、当協会経営委員・同専務理事も交えての懇親会を開催しました。各テーブルでは賑やかに歓談し、大いに親睦・交流を深める場となりました。



懇親会のもよう



講演する吉竹優子様



挨拶をする北村経営委員長

2020年

迎

春



一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会会員 (79社)

会社名	代表者氏名	会社名	代表者氏名
赤井設備工業(株)	上田 訓司	敷島煖房工業(株)	土橋 誠二
(株)朝日工業社大阪支社	中尾 弘昭	四國機械設備(株)	曾我 幸二
(株)上杉工業	林 一也	島設備工業(株)	井上 暎夫
浦安工業(株)大阪支店	屋敷 直幸	主計管工(株)	中井 主蔵
(株)江坂設備工業	中村 昭一	城陽ダイキン空調(株)	澄川 秀幸
エルゴテック(株)西日本支店	吉山 高信	(株)城口研究所関西支店	前田 史郎
オーディーエー(株)	織田 幸子	新日本空調(株)大阪支店	田中 幹武
(株)大阪城口研究所	城口 俊雄	新菱冷熱工業(株)大阪支社	小松 良行
鳳工業(株)	齊藤 久克	須賀工業(株)大阪支社	福原 保豊
奥田商工(株)	奥田 康雅	(株)精研	上野 俊信
影近設備工業(株)大阪支店	東野 大輔	第一工業(株)大阪支店	瀧内 秀一
川崎設備工業(株)西部支社	小島 泰進	第一設備工業(株)大阪支店	中村 秀樹
川惣電機工業(株)	昆沙賀正道	大貴設備(株)	田窪大五郎
川本工業(株)大阪支店	柴尾慎一郎	ダイクウ(株)	中村 淳一
木村工業(株)	木村 之彦	大晃設備(株)	樋上 雅一
協伸工業(株)	森岡 由智	大成温調(株)大阪支店	喜田 孝宏
(株)共進社工業所	山内 昇平	ダイダン(株)大阪本社	古新 亮英
享和設備(株)	竹本 和正	大熱工業(株)	藪本 繁明
クウケン(株)	森本 省三	(株)大和商会	玉置 哲也
九櫻設備工業(株)	高安 秀幸	高砂熱学工業(株)大阪支店	山本 一人
(株)クドウエンジニアリング	田浦 明敏	(株)タカネツ	高木 優
(株)ケンシヨウ	熱田 敏広	田丸産業(株)	堀田 高志
五建工業(株)大阪支店	安田 実	(株)テクノ菱和大阪支店	大石 勉
斎久工業(株)大阪支社	浅井 克巳	東洋工業(株)	谷本賢太郎
三機工業(株)関西支社	白木 博之	東洋熱工業(株)大阪支店	平田 順一
三建設備工業(株)大阪支店	後藤 逸文	西川設備工業(株)	関田 一也
(株)三晃空調大阪本店	笠木 裕公	(株)錦	廣田 典子
三神工業(株)大阪支店	八坂 巖男	(株)西原衛生工業所大阪本店	高島 良一
三宝電機(株)	井上 清人	日建設備工業(株)	三井 正雄
(株)三冷社西日本支社	金子 達哉	(株)日設関西支店	古橋 誠治
(株)JR西日本テクシア大阪支店	村上 茂夫	日本管工業(株)大阪営業所	小野 直人

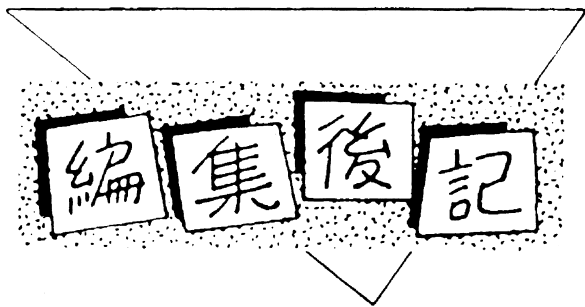


会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
日本ファシリオ(株)大阪本店	細田 昌克	(株) 前 田 商 会	前田 隆司
日本メックス(株)関西支店	谷島 錦吾	(株) マ サ キ 設 備	正木 康晴
(有) 原 設 備	原 良一	丸 住 (株)	吉田 博子
日比谷総合設備(株)関西支店	古閑 一誠	美 和 設 備 工 業 (株)	栢瀬 秀樹
(株) 一 二 三 工 業 所	一二 健夫	柳 生 設 備 (株)	福地 文雄
(株) 不 二 設 備 工 業 所	水田 幸宏	(株) 柳 澤 設 備	柳澤 満弘
不 二 熱 学 工 業 (株)	近藤 康之	山 田 工 業 (株)	西方 盛実
富士古河E&C(株)西日本支社	野崎 潤	若 林 設 備 工 業 (株)	若林 豊
(株) 北 祥	澤村 幸雄		

賛 助 会 員

(65社)

会 社 名	代表者氏名	会 社 名	代表者氏名
朝日機器(株)大阪支店	加藤 淳一	高 井 水 栓 (株)	高井 徹
アズビル(株)ビルシステムカンパニー関西支社	武田 知行	タ カ ラ 通 商 (株)	川西 雅裕
アルファ・ラバル(株)大阪支社	酒井 雅史	(株)多久製作所建築・設備カンパニー-中日本営業統括部	清水 正行
安 藤 (株)	安藤 康雄	(株) タ ブ チ 大 阪 特 販 本 部	下玉利 誠
イシグロ(株)関西ブロック	浅利 政史	テ ラ ル (株) 大 阪 支 店	若林 聡
因幡電機産業(株)	山田 剛志	東 西 化 学 産 業 (株) 大 阪 本 社	河野真一郎
井下機器(株)	井下 光泰	東 テ ク (株) 大 阪 支 店	糸満 陸夫
荏原実業(株)関西営業所	綿谷 龍一	T O T O (株)	吉田 伸典
(株)荏原製作所西大阪支店	濱 輝明	T O T O 関 西 販 売 (株)	妹尾 昌一
(株)オーケーエム大阪支店	岡崎 洋	東 洋 バ ル ヴ (株) 大 阪 営 業 所	岡崎 大輔
オーケー器材(株)	山田 進一	(株)ニシテックビルシステム事業部	藪川 洋一
(株)大岩マシナリー関西支社	金澤 広昭	ニ ッ ケ イ (株) 大 阪 営 業 所	田中 広
(株)カナデン関西支社	井口 明夫	日 製 電 機 (株) 大 阪 支 社	桂井 善章
川重冷熱工業(株)西日本支社	島田 洋一	ニ ッ タ (株)	鈴木 弘樹
(株)川本製作所大阪支店	三木 久雄	日 本 電 技 (株) 大 阪 支 店	眞明 良信
北九州空調(株)大阪営業所	西本 智彦	日 本 水 処 理 工 業 (株)	川西 昌史
木村工機(株)大阪営業本部	登尾 公彦	(株) 日 阪 製 作 所	三宅 規夫
協立エアテック(株)大阪支店	津田 勇	日 比 谷 通 商 (株) 関 西 支 店	芝口 薫
空研工業(株)大阪支店	塚本 法宏	(株) 扶 洋	横田 好明
(株)古島大阪支店	藤井 良夫	(株)ベルテクノ大阪支店	松尾 英樹
(株)コスタコーポレーション	逸見 克孝	北 勢 工 業 (株) 本 社 営 業 部	北山 秀晴
三 和 鋼 管 (株)	藤井 洋央	三 菱 電 機 冷 熱 機 器 販 売 (株) 関 西 支 社	大橋 章二
ジョンソンコントロールズ(株)大阪支店	小玉 尚文	森 松 工 業 (株) 大 阪 支 店	齋木 慎嗣
新晃工業(株)大阪支社	道端 徳昭	(株)大和バルブ大阪支店	湯浅 雅宏
(株) 振 興 社 設 営	藤井 信夫	ヤ マ ト ヨ 産 業 (株)	大野 賢二
新 日 本 美 風 (株)	荒牧 太郎	ヤンマーエネルギーシステム(株)大阪支社	岡森 年彦
シンワ工業(株)大阪営業所	中村 博史	ユ ア サ 商 事 (株) 関 西 支 社	磯端 潔
住友商事マシネックス(株)大阪オフィス	才本 幸治	(株)ユニックス大阪営業所	山本 秀治
ゼ ン シ ン (株)	吉田 晃	(株)ヨシタケ建築設備営業部西部エリア	岡馬 大輔
(株)ソエダ関西支店	小山 尚郎	(株)LIXIL関西PJ支店	金岡 寛之
タイョージョイント(株)大阪営業所	後藤亮太郎	菱 電 商 事 (株) 関 西 支 社	吉田 智昭
(株)ダイキアクシス大阪支店	野村 宗克	リ ン ナ イ (株) 大 阪 支 店	児玉 宅央
(株) 大 和	岩佐 和清		



去年はラグビーに魅せられました。

にわかファンです。今までは然程興味は無かったのですが、彼らの世界を相手に戦う姿、日本チームよりも体格に恵まれた対戦相手に1人で無理なら2人でタックル！と足らずを補う戦法。また、その後の素早いフォロー体制と戦術も素晴らしいがそれに応えるプレイヤーも凄いと思います！

経験者に聞くと40mを超えるキックを確実に決めてくるキッカーは少ないそうです。

私がなにより「凄い！」と感じたのは、ゴールを目指し全力で走る所にタックルされ倒されながら振り返りもせずパスを上げた所に必ずと言っていい程味方のフォローがトップスピードでついて来ている事です。何度も見ました。「偶然」か「戦略」か「信頼」か。

彼らには「ワン・チーム」と言うテーマがあると聞きました。解釈はどこまでも広がりを持てる素晴らしい言葉だと思います。(H.M)



この度、広報専門委員を仰せつかりました株式会社精研の柘と申します。初めてで分からないことが多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。

さて、最近聞いた講演で「日本語の響きっていいよね！」と思ったことがありました。「慮る」と書いて何て読むでしょうか？「おもんばかり」若しくは「おもんばかり」と読みます。元々は「おもひ(い)はかる」と読まれていましたが、音が変化して今の様な読みになったということです。意味は「あれこれと思いを巡らすこと、深く考えること」。講演中、この言葉に触れられ、久し振りにこの言葉を思い出しました。とかく忙しい現代、ややもすると自分中心に物事を考えて行

動しがちです。相手のことを思い、その人の立場に置き換えて落ち着いて考えてみると今までの身勝手な行動が見えてくる様な思いがします。

終了した講演会場には人々の清々しい思いが満ち溢れていました。(A.H)



去年は、東日本を中心として、台風19号による記録的な水害等、例年以上に全国各地で自然が猛威を振るい、災害が頻発した1年でした。

災害の主な原因である地球温暖化に対し国は、温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」の目標達成に向け、昨年6月に、温室効果ガスの排出量を大幅削減するための長期戦略を閣議決定しました。

その長期戦略の中で、国の長期的なビジョンとして、「最終到達点として「脱炭素社会」を掲げ今世紀後半のできるだけ早期に実現していくことを目指す」とあります。

「低炭素社会」は、空調衛生業界でもよく使われていますが、現在の地球環境を取り巻く深刻な状況を見ますと、一刻も早い炭素社会からの脱却が求められているといっても過言ではないと思います。

昨年12月にマドリードにおいて開催された「COP25」では、日本の長期的目標に向けての姿勢に対して厳しい声もありました。

いよいよ、官民を挙げて、大胆に取り組む時が来たと感じるこの頃です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

(S.H)

#### 大空衛 第86号

令和2年1月31日発行

編集人 広報委員会

発行人 一般社団法人 大阪空気調和衛生工業協会  
〒541-0052

大阪市中央区安土町1丁目7番20号  
新トヤマビル3階

Tel 06 (6271) 0175

Fax 06 (6271) 0177

E-mail: osakakueikyo@tenor.ocn.ne.jp

URL <http://daikuei.com>

印刷 株式会社ミラテック



一 般  
社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

機関誌 第 86 号 (冬季号)